城南の丘の桜も、みなさんの入学の日を祝うかのように、まさにタイミングをぴったり合わせて咲き始め、今、満開を迎えようとしています。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。希望に満ちあふれた55名の皆さんの入学を、教職員一同、そして、2、3年生全員で心から歓迎します。中学校での3年間は、義務教育の仕上げとなる大切な3年間です。心と体と知性を大きく成長させ、「自分で」選んだ進路へと進んでいくための大切な準備期間にしてください。

さて、城端中学校には、その成長のために大切にしてほしい、3つの「校訓」があります。今日は、先輩方から引き継がれているこの校訓、「自主自立」「誠心誠意」「不撓不屈」についてお話しします。

まず「自主自立」です。これは、自分から進んでものごとを行い、責任をもって行動することです。

学習や部活動、学校行事などをやりなさいと言われたからと、ただ漫然とこなすのと、「やりたい！」と意欲的に、そして、なぜやるのか考え、必要感をもって、やるのとでは、結果や成長が大きく変わってきます。

私のやる気を引き出してくれた言葉に「きみはどう生きるのか？」という質問がありました。今日、ここで、みなさんにこの言葉を投げかけます。この中学校の三年間、「みなさんはどう生きますか？」大切な命を、そして、この三年という、かけがえのない時間を、どのように使うべきか？ いつも心に自問自答しながら、向上心と必要感をもって、様々な活動に取り組んでください。

次は、「誠心誠意」です。まごころをこめて、本気で真剣にものごとに取り組むことです。

たくましい体を育てるには、運動が必要ですが、豊かなこころを育てるには感動が必要です。こころをたくさん動かすことで、豊かで強く、やさしい心が育ちます。

私の好きな言葉に「本気でやらなきゃ心は動かない！」という言葉があります。本気で物事に取り組んだ時にこそ、結果はどうであれ、大きく心が動きます。心の底が湧き上がる喜びや、くやしさをたくさん味わってください。涙は、心の汗とよく言われますが、うれし涙や悔し涙、そして感動の涙をたくさん流し、しなやかで、やさしく、強いこころを育ててください。

最後は「不撓不屈」です。困難に立ち向かい、くじけずに頑張ることです。

中学校生活では、簡単にできることばかりではなく、何度も失敗したり、うまくいかなかったりすることもあってしょう。そして、すぐに結果が出ないことも何度もあります。

私のぐっとくる言葉に「あきらめたら、そこで試合終了ですよ！」という言葉があります。あきらめずにチャレンジし続けること、結果が出るまで信じて努力を続けることは、自分の成長のためにとっても重要なことです。そして、このあきらめない不撓不屈の精神こそ、たとえ、結果が出なくても、次に向かう力を生み出してくれると信じています！

さて、このような意欲をもって取り組んだとしても、困ったことや、悩むことが出てくるのが青春で、人生です。そんなときは、周りの人に、何でも話しをしたり、相談したりしてください。きっと、先輩も、先生も、家族も、地域の方も、みなさんに力を貸してくれるはずですよ。そして、自分なりに目標を修正し、何度でも再チャレンジ、再出発をしてください。

さあ、今日から新しいスタートです。3年後、ここにいる一人一人が、城南の丘に咲く美しい桜の下で、「城中はとっても楽しかった！そして、大きく成長したなあ！」と実感し、夢をもって次のステージに進んでいけるよう、この3つの校訓を大切に、中学校生活に取り組んでください。

令和七年四月九日 南砺市立城端中学校長 山崎 洋